

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	地域医療部
	17046	医療センター設備改修事業		課名	病院総務課 病院総務G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		財務科目	13:病院公営企業会計
	基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実			資1:資本的支出
	施策の方向	04:医療センターの機能強化と経営健全化			01:建設改良費
戦略プロジェクト	01:「健都さぷり」プロジェクト		01:建設費		
事業予定期間	H 29 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等			

② 目的・概要	対象	患者等来院者、職員
	目的	建物の基幹的設備である受変電設備(キュービクル)及びボイラーが老朽化しているため、施設改修により建物寿命の長期化を図り、将来にわたり良質な医療を提供していくものである。
概要		平成2年の開院から30年近くが経過し、老朽化が進む設備について、今後の施設の適切な維持管理のため設備改修工事を実施する。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○受変電設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 ・設計監理業務 ○ボイラー設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 ・設計監理業務 	<ul style="list-style-type: none"> ○受変電設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 ・設計監理業務 ○ボイラー設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 ・設計監理業務 		
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○受変電設備改修工事 工事はほぼ完了し、改修した受変電設備については年度内に運用を開始している。 ○ボイラー設備改修工事 本年度については、設計のみ。現場工事の進捗率は0%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○受変電設備改修工事 工事は完了し、新設備は順調に稼働している。 ○ボイラー設備改修工事 工事は完了し、8月から新設備は順調に稼働している。 		
事業の計画・実績	計画額	事業費	130,000千円	153,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	124,000千円	149,000千円	
		その他			
	予算額(※)	事業費	76,963千円	21,793千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	70,963千円	15,800千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	76,651千円	21,711千円	
		国庫支出金			
県支出金					
地方債		70,900千円	15,800千円		
その他					
人件費	総人件費 ②	768千円	778千円		
	一般職員	768千円	778千円		
	所要人員	0.10	0.10		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		77,419千円	22,489千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

				平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	受変電設備及びボイラー設備更新工事 進捗率	計画値	46	100	
			実施済み工事費／総工事費	実績値	79	100	
				単位	%	%	
	②	名称		計画値			
				実績値			
				単位			
	③	名称		計画値			
				実績値			
				単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 監督員及び設計監理業務委託事業者と協働して、工事を進めていく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 監督員、設計監理業務委託事業者及び施工業者と十分な打合せを行い、円滑な工事の進捗に努めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 受変電設備及びボイラー設備ともに期間内に改修工事が完了し、それぞれの新設備は順調に稼働している。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 基幹的設備である受変電設備及びボイラー設備の改修を完了したことにより、医療センターの機能強化を図ることができ、引き続き良質な医療を提供できることとなった。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 基幹的施設設備のうち、給湯配管設備等老朽化が進んでいるものについては、早急な改修工事が必要である。また、現時点で耐用年数は経過していないものの、エレベーター、自家発電設備等主要設備の全面的な改修が近い将来必要となってくる。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 平成30年度で事業完了
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 施設設備の状況を適宜確認し、必要に応じて、資金計画を含めた改修計画を立てることとする。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 施設設備の長寿命化を図ることにより、良質な医療の継続的な提供に努めることができる。	
対応時期		令和元年度～	

【1次評価者】	地域医療部 病院総務課 病院総務グループリーダー 大田 より子
【最終評価者】	地域医療部 病院総務課長 宮村 信廣

(参考:前期基本計画期間(H29-H33)における評価履歴)

		H29	H30	H31	H32	H33
判定	活動	A	A			
	成果	B	A			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

		予算額(事業費)	21,793 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	312 千円	
	平成30年度最終予算額	21,481 千円	
	令和元年度への繰越額	- 千円	